

国際理解講座

画像で語る シルクロードと大伴家持の時代 ～長安・洛陽と大宰府を結ぶ～

金沢星稜大学名誉教授・松蔭大学特任教授である藤井一二先生をお招きし、画像を中心にシルクロードと天平文化に焦点をあて、西の都と呼ばれる大宰府と唐・渤海を結んだ東アジア「大交流時代」についてご講演いただき、国際理解を深める講座を開催いたしました。



◆概要

- 日 時：令和3年2月14日(日) 14:00～15:30
- 場 所：プラム・カルコア太宰府
- 参加者：35名

◆講師紹介

講 師 藤 井 一 二 先 生

- 金沢星稜大学名誉教授
- 松蔭大学特任教授・博士
- 日本古代史・地域文化史を研究
著書『大伴家持 波乱にみちた万葉歌人の生涯』
(中公新書)など

◆事業内容

【主な講演内容】

①藤井先生が訪れた場所の写真紹介

今までに藤井先生が訪れた場所の写真を使って詳しい説明をしていただき、シルクロードと天平文化の理解が深まりました。

②遣唐使の往来

717年に日本から阿倍仲麻呂や吉備真備が遣唐留学生として海を渡りました。その後、754年に鑑真が来日した際、大伴古麻呂が自船に隠す話が特に印象に残りました。

中国から日本に遣日使が何度も来ていたということに驚かされました。

③壁画「飛天」

法隆寺金道壁画は、大宰府を經由して伝えられた初唐様式の影響下に成立した白鳳絵画の貴重遺品です。



【新型コロナウイルス感染防止対策】

当日は、室内換気および体温チェック、会場内で密にならないような座席配置をするなどの感染防止対策を行いました。